

令和2年度 第48回



教育実践研究論文募集

主 催

公益財団法人
日本教育公務員弘済会宮崎支部

後 援

文 部 科 学 省
宮 崎 県 教 育 委 員 会
宮崎県市町村教育委員会連合会
宮 崎 県 校 長 協 会
宮 崎 県 立 学 校 長 協 会
宮崎県公立小・中学校教頭会
宮崎県立学校副校長・教頭会

趣旨

宮崎県内の教育関係者が使命感をもって教育実践に精励されることを念願し、教育実践研究論文の募集を実施します。

研究課題 「生きる力」を育む教育活動 ～子供たちに必要な力、3つの柱を中心として～

これからの社会は、グローバル化や急速な情報化、技術革新など、予測困難な程変化していきます。そんな社会の変化を見据えて、学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となり、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい」との願いのもと、これから生きていくために必要な資質や能力について見直され、学習指導要領が改訂されました。そして、小学校では今年度（2020年）より、中学校では次年度（2021年）より全面实施されます。

これまで大切にされてきた「子供たちに『生きる力』を育む」という目標が、変わった訳ではありません。新しい時代を生き抜く子供たちに、社会の変化を見据えるのに必要な力として、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」を3つの柱として整理されました。

そのためには、学びや指導の質的な転換に力点を置いた「主体的・対話的で深い学び」への工夫が求められています。このことを踏まえ、各学校では、子供たちの実態や学校・地域の特性を的確に把握し、課題を明確にしながら、諸教育活動を展開・充実する必要があります。学校の全教育活動とおして課題解決を図り、子供たちに「生きる力」を育むことが大切です。

「第48回教育実践研究論文募集」では、これまでの「個人研究部門」に加え、「学校研究部門」を設けました。下記の分類により「生きる力」を育む具体的な教育活動の展開・充実を期し、標記を研究課題とした教育実践研究論文を募集します。学ぶ子どもたちの視点に立ち、主体的で具体的な実践に裏打ちされた先生方の教育実践研究論文を期待しています。

募集内容 【学校研究部門】

各学校における主題研究を中心とする教育実践及び特色ある教育活動の実践

【個人研究部門】

- 第1類 教科指導に関する教育実践
 - 第2類 生徒指導、道徳、特別活動、キャリア教育、情報教育、学級経営などを中心とする教育実践
 - 第3類 学校経営、事務室経営、学年経営、保健室経営、食育指導や保健指導等を中心とする教育実践
- ※ 第3類は、「管理職（校長・副校長・教頭）の部」「教諭（主幹教諭・指導教諭・教諭）の部」「養護教諭の部」「栄養教諭の部」「事務職員等の部」の5部門に分けて、各職種に応じた審査を行います。
- ※ 教育実践研究論文は、「生きる力」を育む教育の実践という立場から、応募者が上記3類の中から具体的な内容と研究主題を決めてまとめることとします。3類ともに、連続応募等の制限はなく、どなたでも応募できます。ただし、各類につき一人1編とします。

募集対象 県内国・公・私立の小・中・高等学校及び特別支援学校に勤務する教職員の学校研究及び個人研究とします。

応募要件 公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に発表したもの及び他団体に応募済みのものは応募できません。

論文の量 写真・図表等すべてを含めて、モノクロとし、要旨1ページと本文4ページとします。
要旨は、48字×43行1段組1頁、本文は、24字×43行×2段組4頁、共にA4判10.5ポイントとします。
※ 論文募集の要項及び雛形は、本支部HP（URL：<http://www.mkjoko.co.jp/>）にあります。（「宮崎教弘」での検索も可能です）

- ## 表彰
- 表彰式は、令和3年2月20日（土）の予定です。
 - 各部門・各類とも第1席・2席・3席までの入賞校・入賞者を表彰します。
なお、第3類は、管理職・教諭・養護教諭・栄養教諭・事務職員等の職種に応じて、審査します。
入賞校には表彰状と研究助成金（第1席10万円・第2席8万円・第3席6万円）を贈呈します。
入賞者には表彰状と研究助成金（第1席5万円・第2席4万円・第3席3万円）を贈呈します。
 - 審査委員会からの推薦があれば、特別賞として次の賞も贈呈します。
(例) ①奨励賞（図書カード1万円分）：入賞に準ずる優れた教育実践研究論文を推薦対象とします。
②学校賞（図書カード2万円分）：応募者が多数の学校を推薦対象とします。
 - 入賞者・奨励賞以外の方には、研究助成（図書カード5千円分）を贈呈します。
 - ※ 日教弘教育賞論文、東京海上日動教育振興基金研究助成への応募については、日教弘宮崎支部教育実践研究論文の応募論文の中から推薦をいたします。

- ## 原稿とその扱い
- 原稿は応募者自身の実践研究によるもので、他に発表していないものに限ります。
 - 原稿には類の別、主題、勤務校、職名、氏名（フリガナを付けてください）等を明記してください。
 - 原稿は郵送とし、CDも同封してください。
 - 原稿の著作権は本支部に帰属し、提出された原稿は原則として返却しません。
 - 論文に使用する写真や個人が特定できる記述等については、本人及び保護者の承諾が必要となりますのでご配慮ください。
 - 入賞論文は、教育実践研究論文集に全文を掲載し、県内の学校及び教育関係機関に配付します。
 - ※ 論文審査等については一切の権限は「本支部」にあるものといたします。

審 査 論文審査委員会を開催し各類にて審査します。

送り先 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 宮崎支部
〒880-0841 宮崎市吉村町曾師前甲3158-1 電話 0985-78-0055

締 切 日 令和3年1月8日（金）

個人情報の取り扱いについて
教育実践研究論文にご記入いただいた個人情報は、選考及び選考結果のご通知のため使用いたします。
なお、入賞者の論文につきましては、お名前、所属、職名等を公表いたしますのでご了承ください。